

藤原ひろき

県政レポート

Vol.7 2014年

動!



我々の住んでいる東三河は、農工商のバランスのとれた産業構造を有し、全国有数の製造品出荷額や農業産出額を誇る地域であります。

この地域の製造品出荷額等は4.2兆円、県内シェア10.5%とあり、他の都道府県と比較しても、全国24位の大分県に相当しています。さらに農業産出額は2,948億円、全国6位、本県においても突出しており、県内シェアは50.5%となっています。

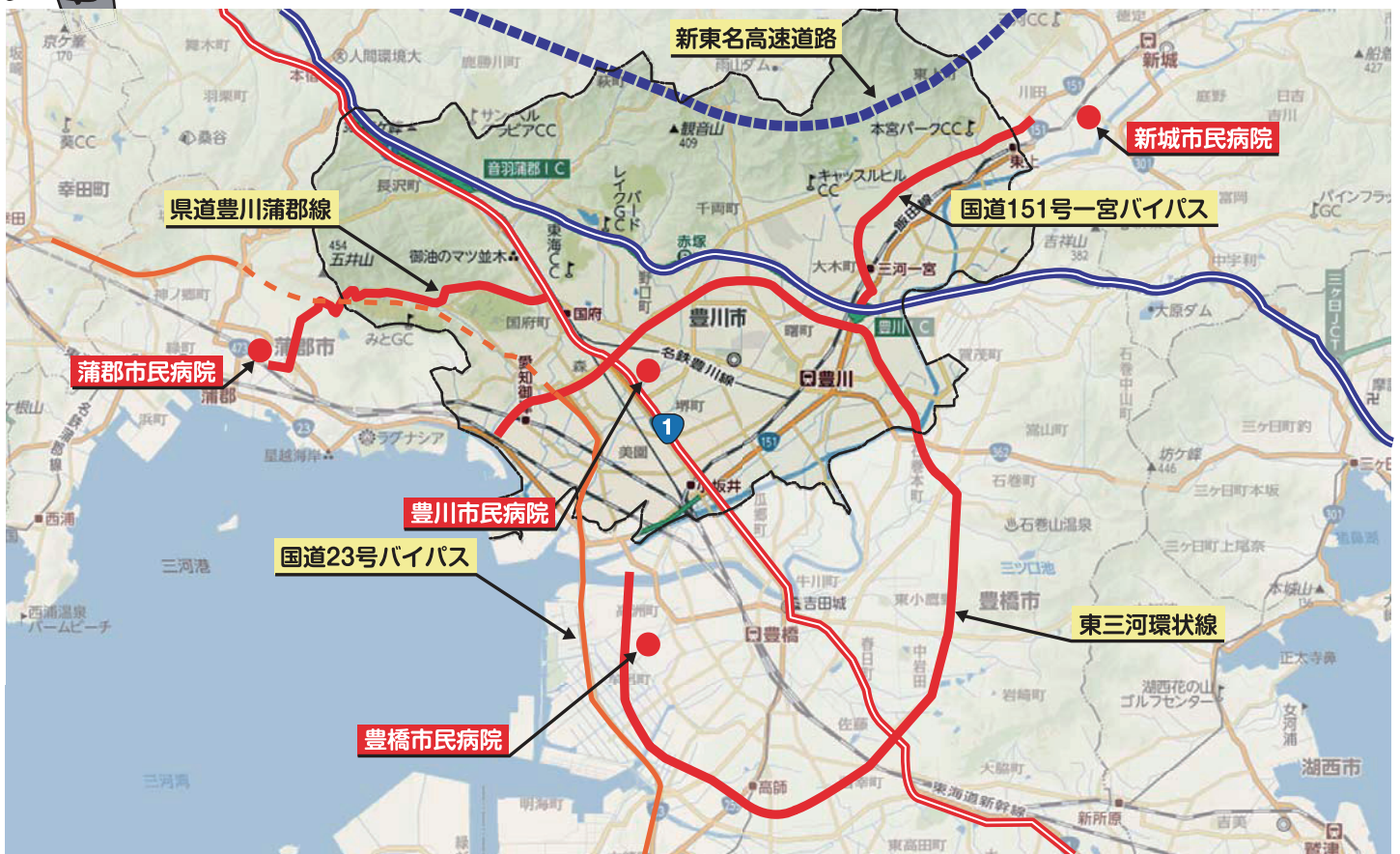
また人口減少がさらに加速すると見込まれる中、交流人口を増やし、豊かな自然や多彩な観光資源を最大限に生かした**地域の産業活力を一層高める**ためにも「東三河インフラ整備」は重要であると考えます。

我が地域の将来を真剣に考え、豊川市選出の県議会議員として積極的に取り組んでまいります。



東三河のインフラ整備について

〈国道23号バイパス・東三河環状線・国道151号バイパス〉



藤原ひろき政策

政治は、誰がやっても同じではありません!

藤原宏樹

みなさまの声を
ぜひお聞かせください

お問い合わせ

藤原ひろき事務所

事務所の場所が変わりました

〒442-0857 愛知県豊川市八幡町横道93-1
TEL (0533) 56-8338 FAX (0533) 56-8321 E-mail: toyokawa_hiroki@yahoo.co.jp
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiwarahiroki.com/>



蒲郡バイパスの現地状況

東部区間



▲御津高校付近より豊川為当IC方面を望む



▲蒲郡市五井地区より(仮称)金野IC方面を望む



▲蒲郡ICより金野IC方面を望む

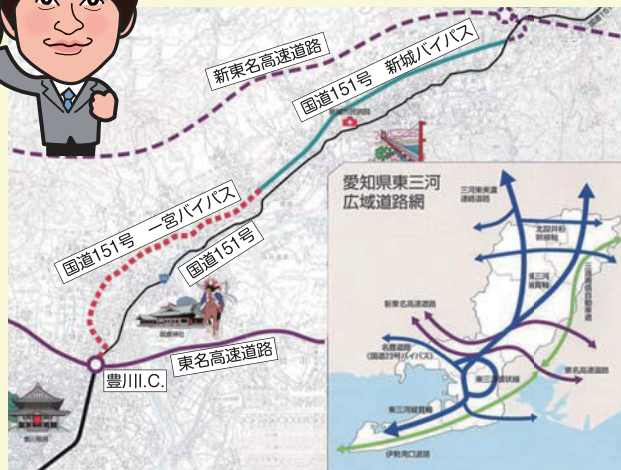
蒲郡バイパス15kmのうち幸田芦谷IC～蒲郡ICの西部区間5.9km今年3月に供用開始しました。蒲郡IC～豊川為当IC間残り9.1kmのみとなりました。

東三河環状線



▲大崎工区と三蔵子工区の完成により市内西部から豊川ICへのアクセスが改善されます。

151号バイパス



▲新城のトンボ鉛筆さん～豊川ICの開通により新城ICから新東名の乗り入れが便利になります。

愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等の被害予測調査結果について

愛知県防災会議地震部会

平成26年5月30日

愛知県は東海・東南海・南海地震が発生した際の被害予測調査結果が発表されました。

南海トラフで発生する恐れのある地震・津波のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波の想定がおりこまれた「理論上最大想定モデル」によると最悪の場合、愛知県だけで東日本大地震の約20,000人を、はるかに上回る**29,000人**の犠牲者が想定されています。

豊川市の被害状況(予測)

最大震度	7
最大津波高	3.7M
最短津波到達時間	77分
全壊、焼失棟数	約17,000棟
死者数	約900人

編集後記

藤原事務所が八幡町の永昌寺に移転しました、今回ここで編集をしました。みなさん是非一度、事務所に寄ってくださいね!(よっちゃんより)